

平成23年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	米沢市・高鍋町少年少女交流事業		基本目標	心豊かな児童・生徒の育成			
担当課(局)・係	教育総務課	教育総務係	記入者	横山英二	評価者	黒水日出夫	開始年度 H6 年度
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください						
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)					

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	東西小学校6年生児童のうち10名								
	意図・目的	ふるさとを誇りに思う心、愛する心を育むともに広い視野に立った考え方ができる児童を育成する								
事業の内容	高鍋町の姉妹都市である山形県米沢市と本町の小学生10名がそれぞれの地を隔年ごとに訪問交流し、それぞれの自然・文化に触れながら相互理解を深めつつ、姉妹都市となった由縁である秋月家・上杉家両家の関係や歴史、秋月種茂公、上杉鷹山公並びに石井十次先生などの先人たちの偉業を学ぶ(※H22年度は米沢市を訪問)									
主な支出項目	22年度決算額	864	千円	23年度予算額	344	千円	事業従事者数	H22 0.10 人	H23 0.25 人	
	補助金	864	千円	国庫支出金		千円	22年度人件費	720 千円		
			千円	県支出金		千円	23年度人件費	1,784 千円		
			千円	地方債		千円	23年度予算額における一般財源の割合(H23)		100.0 %	
			千円	一般財源	344	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください			
町の補助事業	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助			補助事業名		小学生米沢市交流訪問事業補助金				
	補助交付団体			米沢市交流訪問団		補助金要綱				
	22年度	補助額	863,580	円	補助の形態	臨時的補助	23年度補助額		円	終期 年度
		団体の決算額	963,604	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等					
		補助の割合	89.6	%						
繰越額		0	円							

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか	
	1	ふるさとを誇りに思う心、愛する心をもつ児童の育成	子どもたちが自分たちの言葉で高鍋町を紹介するために、自分の住む高鍋町について深く学習する必要がある。さらに異文化に触れ、違った視点から高鍋町を見つめ直すことでふるさとを誇りに思う心、愛する心を育成することができる。
	2	広い視野に立った考え方ができる児童の育成	親元を離れて普段行くことのない山形県米沢市を訪問し、交流を深めることで広い視野に立った考え方ができる児童の育成に効果を得ることができる。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に	
	1	事前指導などの会議	役割分担の徹底や発表資料作成のためのふるさと学習などのために事前指導などを実施
	2	報告書の作成	参加児童に感想文を提出させ、報告書を作成し、関係機関へ配布する。
	3		

◎達成状況

指標名		単位	21年度	22年度	23年度
成果指標	ふるさとを誇りに思う心、愛する心をもつ児童の育成	目標値	10	10	10
		実績値	10	10	
		達成率	100.0%	100.0%	
	広い視野に立った考え方ができる児童の育成	目標値	10	10	10
		実績値	10	10	
		達成率	100.0%	100.0%	
0	目標値				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	事前指導などの会議	目標値	2	2	3
		実績値	2	2	
		達成率	100.0%	100.0%	
	報告書の作成	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
0	目標値		80		
	実績値		100		
	達成率	%	#DIV/0!	125.0%	

事務事業名	米沢市・高鍋町少年少女交流事業	担当課(局)	教育総務課
-------	-----------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	
		自己評価	委員評価
(必要性) 歴史的なつながりのある姉妹都市米沢市との交流は必要だと思うが、この交流事業に参加できる児童があまりにも少数であるため、このまま町が主体で継続していき、本事業の掲げている目的が達成できるのか疑問を感じる。 現在高鍋東中学校が実施している修学旅行のコースに姉妹都市(福岡県朝倉市)を組み込むといったような取り組みの方が、効果が高いと思われる。	◎目的からして町が行うべきか	2	-
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	-
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	0	-
	◎事業廃止による影響があるのか	0	-
有効性 参加児童がごく少数であるため、有効性は低いといわざるを得ない。	◎目標に対して成果は得られているか	0	-
	◎すでに目的は達成されていないか	2	-
効率性 準備に相当な時間と手間がかかる上、有効性が低いので効率性は非常に悪い。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	0	-
	◎費用対効果が十分に認められるか	1	-
協働性 観光協会などとタイアップした取り組みは可能だと思われる。	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	1	-
合計(最高18点)		8	-

※町補助をしている場合のみ記入

(公益性) ≪公益性は低い≫ 2年かけて「5年生で受入、6年生で訪問」(※同じ児童)という形の交流事業なので該当学年前後の学年はこの交流事業に参加できない。 ≪補助事業がカバーしているか≫ 事務局が行政であるので、ほとんど補助事業の意味がない。	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	1	-
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	1	-
	◎町民の理解が得られる事業であるか	0	-
合計(最高4点)		2	-
その他			

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価 ◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	平成6年度より行われてきた事業である。平成22年度中に各学校の意見を聞いてみたところである。訪問者が10名と限られていることに対して、もっと多くの児童に体験してもらいたいとの意見あり。しかしながら経済的負担を考えたら、これもやむなしという意見もでた。事業そのものは大変良いことであるので、現状を維持しつつ、今後、検討を加えていきたい。	今後の方向性			
		事業の方向性 拡充 現状維持 縮小 廃止			○
		廃止	縮小	現状維持	拡充
コスト					

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎人材育成の観点から必要と考える。 ◎人数や隔年訪問の方法など全般的な見直し・検討が必要である。 ◎予算が確保できれば、学生には広く見聞を広めていただきたい。 ◎参加人数はマイクロバスの関係で制限しているようだが、体験できる生徒数の拡充に向けて検討すべき。
	コスト	現状維持	
	委員評価	-	
	外部評価	-	